

# 産科

## 正常分娩看護の一症例について

発表者 田 辺 庚  
産科 一同

### 1. はじめに

産科に入院する多くは健康な母親です。母子ともに健康で分娩、産褥、新生児期を経過し、その後幸福な生活ができるよう看護にあたっています。

では当科で実際に行われている看護を母親を中心として一症例について報告致します。

### II、症例紹介

S 45年10月14日 20時15分陣痛開始にて入院

10月22日 退院

○ 沢 ○ 子 27才 無職(元教員)初産婦

家族歴 特記事項なし 夫30才 教員

既往歴 月経歴 共に特記事項なし

結 婚 25才 既往妊娠なし

今回の妊娠経過

最終月経 12月30日より5日間 予定日10月7日

つわり 2月上旬~4月上旬 中程度

胎動自覚 6月中旬

外来経過 16/II 初診 SII M

10/VI 流産防止の内服治療、安静を指導される。

13/X 陣痛開始の主訴で来院。経過観察するも陣痛弱まり、子宮口2指開大のまま帰宅。

入院時所見

K. L. 153cm K. G. 62kg B. U. 92cm F. Ut 31cm

B. D. 124~90 H. E. (-) H. Z. (-) O. (-)

骨盤外計測は異常なし

下向部は児頭で固定している。

Ⅲ、入院中の経過及び看護の実際

A、分娩まで (図2参照)

看護の要点 ○不安の除去 ○疼痛、疲労の緩和 ○感染予防 ○分娩進行状態の観察と異常の早期発見、右記の如くで本症例の問題点は次の4点

問題点	対策
1) 初産婦であり分娩に不安をいれている。	○家族、周囲の人からの話等で分娩が長びくのではないかと思いきこんでいるので、今は異常は認められないこと。又分娩経過、腹式呼吸、圧迫法について説明し、一緒に行う。
2) 睡眠不足である。	○前日も熟睡していないので無駄な消耗を防ぐ為間欠期を利用して睡眠をとるよう話す。
3) 1h 頃早期腹圧をかけ始める。	○児頭が下がっているのでやむをえないと思われるが子宮口全開大前に怒責を加えてはならない訳を説明し、腹式と短息呼吸について再度説明し、一緒に行う。
4) 5h 頃より疲労感の訴えあり。	○子宮口ほぼ全開大なるもなかなか進行しないので少しあせりが見られる。進行状態を説明しながら少し怒責のかけ方を説明し、励ます。

7h 自然破水

8h 45' 分娩室入室

9h 55' 側方切開にて分娩 頸部1回臍帯巻絡あり解除

10h 胎盤娩出

切開部プロカイン使用にて縫合 正常に分娩終了す

分娩所要時間 17時間5分

出血量 245cc

B、産褥期 (図I参照)

看護の要点 ○復故現象の助成  
○乳汁分泌機能の促進  
○感染予防  
○保育、産褥、家庭計画指導

上記の如くで本症例の問題点は次の3点で

問題点	対策と結果
1) 陥没乳頭である。	○SⅧM頃より手入れしたが思うようにならなかった由。

## 2) 乳汁分泌不良

## 3) 縫合部痛がある

暇な折乳頭をつまみ出すよう話す。

- ◎初回授乳は吸いつかず翌日より刺戟に対し大分突出し、介助によって吸いつくようになる。
- 分泌促進マッサージ施行くりかえすも分泌不良
- 乳汁分泌促進剤 4日間施行
- 分泌不良は個人差のあること。栄養、水分の摂取、睡眠、休養が大切であることなど説明し、母乳、栄養をあきらめないよう指導する。
- ◎本人の母乳に対する希望は大きく、根気良く努力している様子がうかがわれ、退院時には、分泌がやゝ良くなり人1倍喜こんで退院となる。
- 縫合部に異常は認められなかったので、排尿、排便、ベットの昇降時、力のバランスのかけ方で多少疼痛の軽減することを説明する。又、抜糸迄の経過を説明し心配のないことを話す。
- 局所の清拭指導
- 円坐の使用を試みる。
- 悪露交換の実施
- ◎説明後縫合部痛の訴えもなく、5日目抜糸施行後疼痛なし。

産褥経過は特記すべき異常も認められず、退院となりました。

### 沐浴指導について

母親学級テキストと掛図で説明後デモンストレーションする。

#### 内容、目的

沐浴前の注意

沐浴の準備、必要物品

母親の準備

沐浴の順序

その他質問に応じる

### 産褥指導について

母親学級テキストと現物見本を使用

#### 内容①産褥についての説明

の生理

産褥の摂生 ○身体の清潔 ○乳房の手当 ○栄養 ○腹帯 ○運動と休養  
○性生活 ○産後の検診 ○産後の異常 etc

② 新生児の保育指導

新生児の生理、養護、栄養について

③ 家族計画について

C、新生児期（図I参照）

看護の要点 ○保温、栄養、安静 ○異常の早期発見 ○感染予防

上記の如くて

児の出生時 K,G 3045 g, K, L 49.5 cm K, U 32 cm アプガールスコアは1分後9点、5分後10点、生下時の体重減少もみないで順調に体重増加、7日目臍脱、8日目3230gにて退院しました。

新生児室に於ては新生児観察カードというチェックリストを使用しています。

IV おわりに

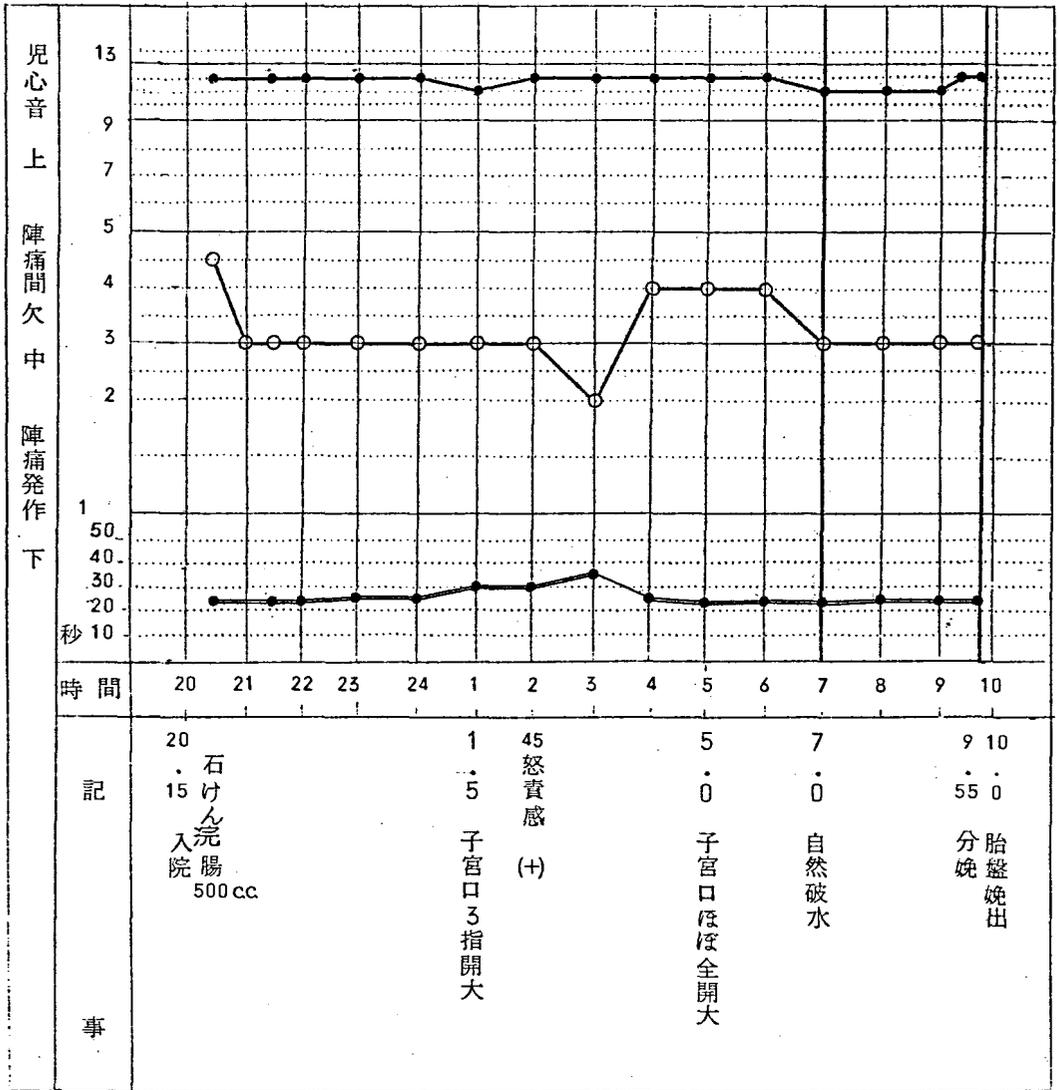
以上一症例の報告は終わりますが、分娩Ⅱ期が少し時間がかかったのは、臍帯巻絡があった為かとも思われますが、臍帯雑音も認められず、臍帯も56cmと正常に思われますので、はっきりした原因はわかりません。

母乳分泌に多少の期待をかけて母子ともに健康で退院できたことをよろこんでおります。

図1

歴日・病日	14	15 <sub>1</sub>	16 <sub>2</sub>	17 <sub>3</sub>	18 <sub>4</sub>	19 <sub>5</sub>	20 <sub>6</sub>	21 <sub>7</sub>	22 <sub>8</sub>
子宮底	31	32.13	14	10	11	11	11	11	9
処置 及び 保健指導			分泌 マッ サー ジ	促進 マッ サー ジ	〃	沐浴 〃 抜指 系導	産 褥 〃 指 導	〃	
乳汁分泌促進剤 (プロラクチン1A)	(プロラクチン1A)			////	////	////	////		
新 生 児	哺乳量 ( )内母乳	150	380	395	625	575	550	620(15)	
	体重	3045	3100	3100	3165	3105	3240	3255	3230
	体重増減		+55	0	+65	-60	+135	+15	-25
	黄疸	-	-	+	+	+	±	-	-
備考		15:00 哺乳開始						臍脱	

図 2.



新生児観察カード

受持医 ○ ○  
助産婦 ○ ○

氏名 ○ 沢 ○ 子 児 ♂ ⊕ ⊗ 経		血液型		母 B	父 O	児																
昭和45年10月15日 9時55分生		生		体重	身長	頭 囲	アフガール															
(予定日 7/X )		下 時		3045	49.5	32	1分後9点 5' 10"															
出生時の状況	娩出時胎位	正常 ( I V H L )				異常 ( )																
	娩出様式	自然		人工 ( 帝切、 吸引、		けん出術、		その他 )														
	分娩所要時間	17時間5分		奇形 有		( 無 )																
日 数	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10			
時 間	深	日	準	深	日	準	深	日	準	深	日	準	深	日	準	深	日	準	深	日	準	
嘔 吐	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
哺 乳	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
運 動	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
チアノーゼ	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
痙 攣	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
頭 血 腫	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
眼 脂	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
股 部 発 赤	□	□	□	□	□	□	□	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
呼吸の状態	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
便 の 状 態	+	+	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
反射の状態	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
発熱の有無	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
鼻 閉 感			+	+	+	□	□	+	+	+	+	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
皮 膚	紅 斑	□	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
	のうぼろ	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	らくせつ	□	□	□	□	□	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
黄 疸	□	□	□	□	□	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□	□	□	□	□	□		
臍 発 赤	□		□		□		□		□		□		□		□		□		□		□	
体 重	3045		3100		3100		3165		3105		3240		3255		3230							
処 置																						
備 考																						
サ イ ン	A	B	C	D	E	F	B	C	G	H	B	I	J	B	K	L	B	E	M	B	N	F